

大阪市立

弁天小学校



所在地 〒552-0007 港区弁天2丁目9番35号

TEL 06-6573-5812

FAX 06-6574-6489

校長名 光井 栄雄 (みつい よしお)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和45年4月、児童数が増加していた波除小学校と磯路小学校の2校それぞれの校区の一部が分離再編され、1・2年生431人で開校しました。昭和49年4月には全学年がそろい、全校児童1172人にのぼり、3月には初めての卒業生として184人を送り出しました。その後の人口の減少に伴い児童数も徐々に減り、現在は376人(5月現在)の児童と一緒に学んでいます。

開校当時は、校区の弁天埠頭はフェリー乗り場として使用されており、大阪港の玄関口として栄えていました。時代とともに、高層ビルがそびえ立つ近代的な街並みへと変化する中、令和元年6月に創立50周年を迎えました。令和2年2月には屋上にプール

が設置された新体育館が完成し、「地域の宝である弁天っ子たちが、都会の中でも、自然に触れることができるように」という地域の方々の願いと協力によりできた弁天山や十字池、メダカ池なども含め、充実した教育環境が自慢の学校になりました。

そんな、地域の方々の思いのたくさん詰まった学校を、次の3つの言葉を校訓として、正面玄関を入ったところに石碑を立てて教育活動を進めています。この言葉はコミュニケーション能力の育成、協働力と自ら学ぶ意欲の向上につながるものでもあり、次世代を担う子どもを育てる基礎となっています。

校訓

「もちまえ」

(自分のよい特性を発揮)

「きんろう」

(協力や奉仕の喜び)

「つながり」

(相互のあたたかい連携)

弁天小学校のめざす学校

学校目標

「生きる力」をはぐくみ 人間性豊かな子どもを育てる

校訓をもとに、上記のような学校目標に向かって、子どもと学校・家庭・地域が連携した学校づくりに取り組んでいます。

未来の弁天っ子へのメッセージ

弁天小学校には、春になると咲き誇る桜並木だけでなく、十字池とメダカ池があり、初夏には水蓮の真っ白い花やメダカを中心としてそこに生息する様々な水生生物、四季折々の植物観察のできる弁天山と素晴らしい自然環境の元、生命の大切さについて学ぶことができます。弁天っ子は、広い運動場や講堂、新体育館も含めて、そんな恵まれた自然環境の中、毎日元気いっぱい活動しています。

生成AIの急速な発達など社会情勢が大きく変化している今、新しい社会を生き抜く子どもを育てるため、弁天小に長く伝わる校訓をもとに、「個の特性を尊重し生かし合う」「人と人との協働しながら、課題解決に向かう」力を育てるための活動をしています。そして、「自他を大切にしながら、これからの国際社会を『地球人』として共に生きる力を育てる」そんな学校をめざします。

そんな学校と一緒に作っていきませんか。



運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.0%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合85.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も0.1ポイント向上させる。

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。
- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比を1.00以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60.0%以上にする。

●令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)		
国語	算数	理科
60	51	50

[国語] 学習指導要領の内容別に見ると、「知識・技能」の「情報の扱い方に関する事項」や「思考力・判断力・表現力」の「C読むこと」の問題について特に正答率が低く課題が残る。
[算数] 学習指導要領の領域別にみると、「A数と計算」「B図形」「C測定」「C変化と関係」「Dデータの活用」領域について大阪市、全国平均正答率を下回り課題が残る。
[理科] 学習指導要領の領域別にみると「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域において、正答率が低く課題が残る。

[今後の取り組み]

○基礎学力の向上

「ティーチングエンパワメント事業」を有効活用する。教育アドバイザーによる授業参観を計画的に実施し、教員の授業改善を図り、児童が「わかった、できた」を実感できるようにする。「大阪市の学力向上支援事業」を活用し、4・5・6年生全員が漢字検定を受検する。受検に向けて学習意欲を高めるよう取り組みを見直していく。

○個を尊重する教育

児童の自尊感情を高めるための取り組みとして、他者から称賛される機会を増やす。(タイピング大会や読書表彰など)

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	13.43	20.63	36.50	38.32	43.74	9.27	147.14	21.57	52.19
女子	13.09	20.83	37.87	41.22	43.05	10.10	142.83	13.23	57.05

本校では、休み時間に外で元気よく遊ぶ児童が多い。そのような中で、より運動に興味関心をもたせるために11月から12月にかけて「弁天アスレチック」の取り組みを実施している。運動場に『立ち幅跳び・一輪車・竹馬・30m走・ボール投げ・握力測定・縄跳び・反復横跳び・ラダートレーニング・雲梯・上り棒』ができるように場を設定し、各学年に時間を割り当てた。児童は大変意欲的に参加し、自身の記録が伸びるのを楽しみようになった。また、2月は「なわとび月間」とし、休み時間に運動場で大縄・短縄を楽しんだ。しかし、運動が好きで過当たりの運動時間が多い児童と、そう

ではない児童の二極化は依然として課題である。今後は、上記のような体力向上の取り組みをさらに進め、児童が楽しく運動ができる環境づくりに力を入れたい。また、業間遊び、体育的行事、体育科学習などを工夫することにより、体を動かすことの楽しさを味わわせ、生涯において運動と関わる意識を培い「運動が好き」な児童の育成をめざしたい。

1年間の主な行事

4月	入学式	1学期始業式	1年生を迎える会
5月	運動会		
6月	5年臨海学習	新体力テスト	
7月	プール開き	期末個人懇談会	1学期終業式
8月 9月	2学期始業式		

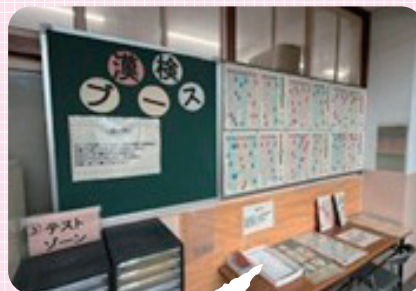
10月	6年修学旅行
11月	全校遠足 学習発表会
12月	期末個人懇談会 2学期終業式
1月	3学期始業式 6年生卒業遠足
2月	学習参観・懇談会
3月	卒業を祝う会 卒業式 修了式

平和学習



6年間を通して平和学習に取り組んでいます。その一環として、6年生は修学旅行で広島へ行きます。平和記念公園を訪問し原爆資料館や慰霊碑をめぐる。各学年が平和を願って折った千羽鶴を6年生が代表として原爆の子の像に捧げます。

漢字検定の取り組み



毎年4・5・6年生は漢字検定を受けます。希望する級の合格に向けて日々学習を積み重ねていきます。職員室の前には「漢検ブース」があり、好きな時に練習プリントに取り組む場になっています。

弁天フレンズ(たてわり班活動)



1年生から6年生が1年間共に活動する弁天フレンズ班。たてわり班活動を通してなかよしの輪を育てています。毎年、秋の遠足では大阪城公園へ全校遠足に出かけます。6年生のリーダーを中心に楽しく活動します。